

琉球大学教育学部教育振興会

第20号 令和5年10月号

〒903-0213

沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

Email: kyoikusinkokai@yahoo.co.jp

TEL: 098-895-8317

発行: 琉球大学教育学部教育振興会 会長 新垣 美由紀 編集: 教育振興会

ニュースレター

“自分のやりたいことを一生懸命にやり
それで人を助けることができれば幸せだ”



野口英世

人生をかけてやりたいこと、成し遂げたいことがある人はとても幸せ。

充実した毎日をご過ごせるでしょう。もしもその「やりたいこと」が、誰かのためになることだったら？それはこの上なく幸せなことです。自分(教師)と身の回りの誰か(生徒)、どちらも幸せになれる目標を見つけないものですね。

私は娘の教育学部への入学をきっかけに教育振興会の理事になりました。

皆様もご存じのように、マスコミ等では学校現場での教員の業務負担に伴い離職者や休職者が相次ぎ、さらなる過重負担に対してどのように対応していくかが社会問題として取り上げられています。

しかし、このような逆境の中、会員の皆様のこどもたちは社会で信頼される、教育者になる道を選ばれたこと誇りに思いますよね。

ここ数年、コロナ禍で学生たちも厳しい学習環境下にあったと思いますが、新型コロナウイルスが5類感染症に分類され、社会全体がやっと動き出してまいりました。

本年度こそは、教員候補者選考試験対策セミ

ナーで、模擬授業及び個人面接を小中学校の現役の校長先生に依頼し、学校現場の魅力を伝えて頂き、学生の不安軽減等の一助になればと思います。

この理事会も年に4回ほどですが琉球大学へ足を運ぶことができますので、大学の雰囲気や学生たちの様子を知ることができます。さらには、毎回、教育学部長や事務長、事務局職員もこの理事会に参加していただいています。我が子の不安や疑問に思っていること、就職活動の情報等、直接お話しできる大変貴重な場であり、親の私たちが子どもに伝えられる情報発信の場となります。

学生が、自分のやりたいことを一生懸命に取り組み人を助けることができる人材となれるようにサポートしてまいりましょう。



琉球大学教育学部教育振興会
会長 新垣 美由紀

教育振興会 総会

令和5年度 教育学部教育振興会 総会の審議結果を、下記のとおりご報告させていただきます。

【結果】

第1号議案～第3号議案・・・賛成 583 票 反対 0 票 棄権 0 票

審議事項について、過半数の賛成を持って可決されました。

書類のご確認、ご返信いただきありがとうございます。

たくさんの激励の
お言葉ありがとうございます。
ございます。

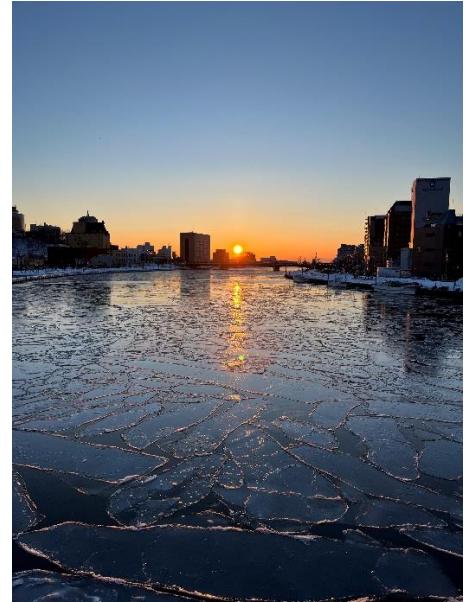


北海道教育大学釧路校への留学体験について

✿ 仲程 優凜奈

北海道で過ごした半年間は私にとって大きな挑戦であり、大学生活のなかでも一番思い出深い経験であったといえるものでした。そこでの生活は何もかもが新鮮で刺激的な毎日で、半年という期間が本当にあっという間に感じました。

沖縄とは全く違う自然や文化、人々の価値観に触れ、北海道に行く前と行った後では明らかに自分の視野が広がっていることを実感しています。なかでも特にこの交換留学を通して、人との出会い、繋がり、尊さを身をもって知ることができたのが一番の成果であると感じました。半年という短い期間にもかかわらず、多くの人と出会い、思い出をたくさん作ることができました。



✿ 國頭 希歩

釧路校は、先生と学生の距離が近くて、みんな仲が良いというところが印象的でした。沖縄から来た私たちをみんなで歓迎してくれ、学校内だけでなく、寮生とは一緒に生活をしていく中で仲を深めることができ、釧路の人々の優しく暖かい雰囲気はとても居心地が良く、好きでした。「北海道はでっかいどう」とはよく言ったもので、北海道は本当に広くて、地図上で見るよりも実際の移動時間が長く、非常に驚かされました。ただ広いだけでなく、いろんな場所に北海道ならではの絶景が広がっており、それは今でも鮮明に思い出せるほどに素晴らしいものでした。

✿ 上江洲 沙優

少年院へフィールドワークに行ったり、酪農の授業を受けたり、へき地・小規模校の授業を受けたりしました。酪農の授業では北海道の酪農産業がおかれている状況や食育を通して命と向き合うことなどを考え、沖縄で教師になったとき子どもたちに伝えたいことを沢山学べました。へき地・小規模校の授業やフィールドワークの授業は沖縄県と同じような問題を抱えた子どもたちや学習の環境があり、今後の課題解決のヒントになることを学ぶことができました。

何より一人暮らしを通して親への感謝の気持ちを感じられたことが一番良かったと思います。これまでは実家から学校に通っていたのですが、寮生活はすべて自分で行うのでこれまでどれだけ支えてもらっていたか実感することができ、当たり前と感じているものを見直すきっかけになりました。勇気をだして留学してとても良かったと思います。





令和4年度(R5.3)卒業者の進路状況



専修	A		a		b	就職状況																	その他 c		
	卒業 者	進 学 者	本学	他大学		教 員											小計	未 就 職							
						幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		小計			日本 人学 校	教員 合計	官 公 庁	企 業 等		小計	就 職 者 計
						県 内	県 外	県 内	県 外	県 内	県 外	県 内	県 外	県 内	県 外										
教育実践	31	1			28			4										4	4		0	4		0	2
子ども開発	21				21	2		1										3	3		0	3			
国語	14				14	1		4	1		2	1						3	3		1	1	4		
社会科	9	1			7			1	1									1	1		0	1			1
数学	14		2		10			2	3	1								6	6		0	6			2
理科	10	2			8			1	1		1							2	2		0	2			2
音楽	4				3				1									1	1		0	1			1
美術	3		1		2													0	0		0	0			1
保体	3	1			2				1									1	1		0	1			0
技術	5				5				2									0	0		0	0			1
生活科学	5		1		4													0	0		1	1	1		
英語	11				10			1		1		1						1	1		0	1			1
特別支援	8		1		6			1	1				1	1				2	2		0	2			1
合計	138	5	5		128	2	0	6	3	9	1	2	0	1	0	24	0	24	0	2	2	26			
						1	0	25	13	2	1	1	0	2	1	46	0	46	7	21	28	81	21		

※就職状況データの上段は期限付き（臨時的）、下段は正規採用でともに外数。

- ・求職者 → (b) = 卒業者 (A) - (進学者 (a) + その他 (c))
- ・未就職者 → 教員浪人・公務員浪人を含む。
- ・その他 → 就職を希望しない者、研究生、科目等履修生、専門学校生、留学、資格取得、大学院受験、結婚、社会人入学、進路未定及び進路不詳の者である。



🌸 2023 年度前期 教員候補者選考試験対策セミナー 🌸

9/2（土）・9/3（日）に沖縄県教員候補者選考試験の二次試験が予定されており、対策セミナーとして『オリエンテーション』を 7/19（水）、『模擬授業及び個人面接』を 8/24（木）・8/25（金）に開催しました。

ここ数年、新型コロナウイルスや台風で延期や中止になったりしていましたが、今年度は予定通り、無事に開催する事ができました。

🌸 オリエンテーション風景



『オリエンテーション』は、二次試験における模擬授業と個人面接の手順や準備、心構えの説明があり、今回から少し時間を長く設けて、実際に 2 人グループになり、面接のシミュレーションなどを行いました。

🌸 模擬授業及び個人面接



『模擬授業及び個人面接』では、2 人の先生方に教室に入る所から、教室を出る所まで細かく指導していただき、参加した学生さんも指導された事やアドバイスをしっかり聞き、メモを取っていました。

今年度は例年よりも 1 教室増やし、学内の先生方だけでなく、学外や附属の校長先生方など、多くの先生方に指導していただきました。

予想よりも申込者が少なく、残念に思っていたのですが、担当の宇栄原先生の機転で、一人 45 分の割当を 1 時間に変更して、一人一人がたっぷり指導を受ける事ができました。

今回参加した方はすごくラッキーだったと思います。

来年は多くの方に参加してもらえるように、もっと工夫したいと考えています。